

平成30年度 水道部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策(水道部関係分)

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性							
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。							
	平成30年度 of 取組状況報告							
	05-01 市街地整備の推進							
	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に強い管網の構築を図るため、基幹管路である大麻送水管等の更新・耐震化を進めたことにより、個別計画の進捗状況を示す「基幹管路耐震化率」は、上昇しました。 ・老朽配水管の更新・耐震化を進めたことにより、個別計画の進捗状況を示す「漏水率」は、引き続き低い水準で推移しています。 ・水道メータ更新の際にも、電子式(地上式)メータを採用したことにより、個別計画の進捗状況を示す「電子式メータ設置率」は、上昇しました。 ・浄化センターの主要施設である流入ゲート外機械・電気設備、東西野幌中継ポンプ場ポンプ等の更新工事を実施しました。さらには安全確保の観点から、浄化センター汚泥処理施設の耐震診断を実施したことにより、耐震診断率は上昇しました。 							
	政策の成果指標		単位	(初期値)	H28年度	H29年度	H30年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合(顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等)		%	76.7	79.1	80.2	80.0	↗
	交通環境に満足している市民割合(道路環境、除排雪事業、公共交通)		%	57.9	65.9	64.4	63.6	↗
	水道部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況							
	「水道事業中期経営計画」 基幹管路耐震化率		%	8.8	12.6	16.7	18.6	↗
漏水率		%	4.0	2.2	2.1	1.5	→	
電子式メータ設置率		%	25.0	44.9	52.6	63.3	↗	
「下水道事業中期経営計画」 処理場、ポンプ場の耐震診断率		%	57.1	85.7	92.9	100.0	↗	

2. えべつ未来戦略(水道部関係分)

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」(担当課)
戦 略 1 とものつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 水道部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
水道事業会計 (千円)	収益的支出 (A)	2,522,414	2,256,277	2,175,468	2,195,600	2,149,742
	資本的支出 (B)	1,001,801	1,243,846	1,232,797	1,237,081	1,360,227
	合計 (A+B)	3,524,215	3,500,123	3,408,265	3,432,681	3,509,969
下水道事業会計 (千円)	収益的支出 (A)	3,435,431	3,307,079	3,325,291	3,379,788	3,325,189
	資本的支出 (B)	2,234,229	2,433,994	2,346,335	2,154,152	2,271,479
	合計 (A+B)	5,669,660	5,741,073	5,671,626	5,533,940	5,596,668
総額		9,193,875	9,241,196	9,079,891	8,966,621	9,106,637